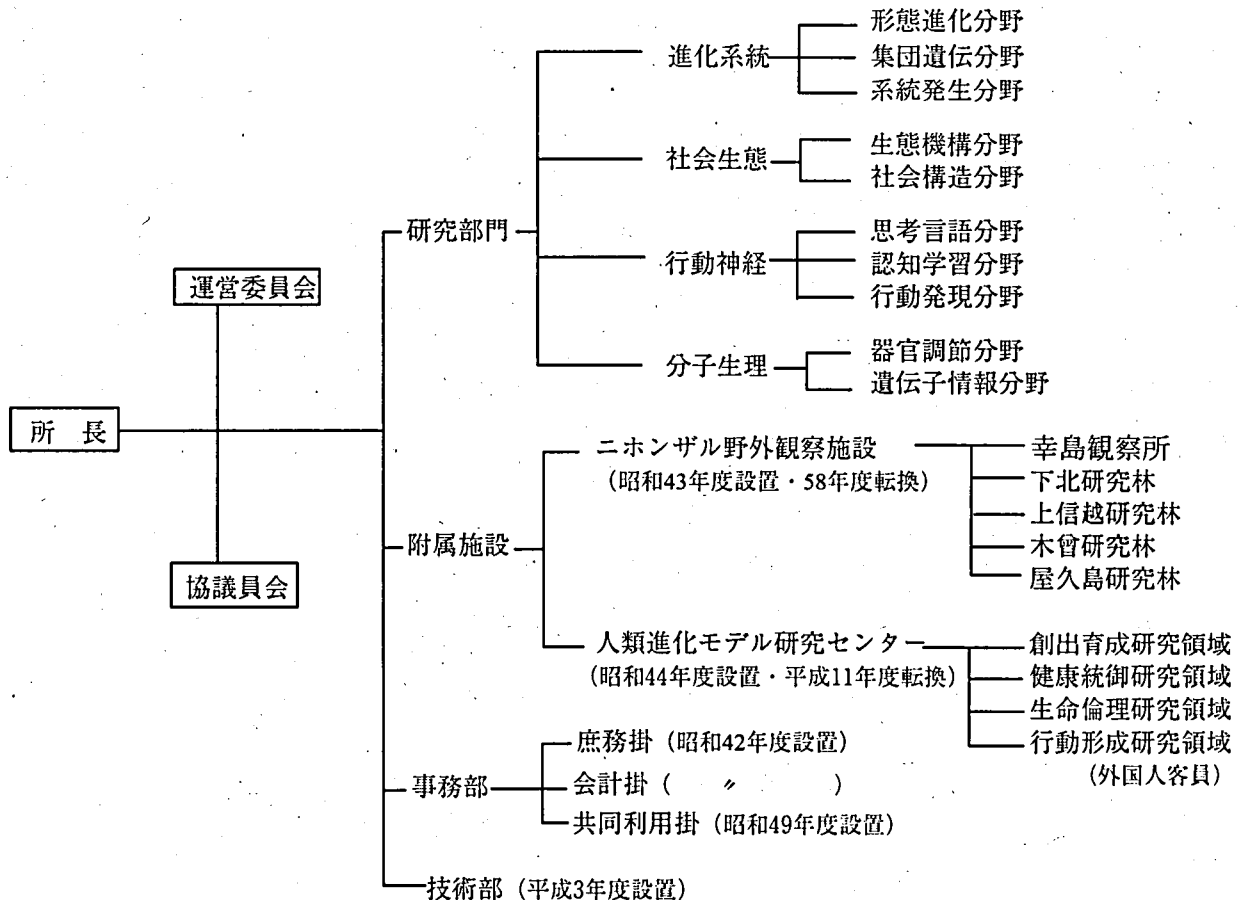


Ⅱ．研究所の概要

1. 組織

(1) 組織の概要 (2004 年 (平成 16 年) 3 月 30 日現在)



所 長
運営委員
(順不同)

茂原 信生
伊澤 紘生
杉山 幸丸
諏訪 元
寺尾 恵治
長谷川 壽一
西田 利貞
山極 壽一
竹中 修
松沢 哲郎
松林 清明
岸本 佳典

(宮城教育大学教育学部附属環境教育実践研究センター 教授)
(東海学園大学人文学部 教授)
(東京大学総合研究博物館 助教授)
(国立感染症研究所筑波医学実験用霊長類センター 所長)
(東京大学大学院総合文化研究科 教授)
(京都大学大学院理学研究科 教授)
(京都大学大学院理学研究科 教授)
(霊長類研究所 教授)
(霊長類研究所 教授)
(霊長類研究所 教授)

事 務 長

教 授	助教授	助 手	外国人研究員	事務官	技 官	小 計	非常勤 (日々)	非常勤 (時間)	合 計
11	11	15	1	9	12	59	1	68	128

博士課程	修士課程	外国人共同研究者	招聘外国人学者	研修員	特別研究員	受託研究員	研究生	合 計
15	12	1	1		5	1	3	38

(2) 所内連絡先一覧

形態進化分野 Tel/Fax: 0568-61-5775

濱田 穰	hamada@pri.kyoto-u.ac.jp
毛利 俊雄	mouri@pri.kyoto-u.ac.jp
國松 豊	kunimats@pri.kyoto-u.ac.jp
早川 清治	hayakawa@pri.kyoto-u.ac.jp
水谷 典子	nmizutan@pri.kyoto-u.ac.jp

集団遺伝分野 Tel/Fax: 0568-62-9554

庄武 孝義	shotake@pri.kyoto-u.ac.jp
川本 芳	kawamoto@pri.kyoto-u.ac.jp
田中 洋之	htanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
澤村 育栄	sawamura@pri.kyoto-u.ac.jp

系統発生分野 Tel/Fax: 0568-63-0536

茂原 信生	shigehar@pri.kyoto-u.ac.jp
相見 満	aimi@pri.kyoto-u.ac.jp
高井 正成	takai@pri.kyoto-u.ac.jp
本郷 一美	hitomi@pri.kyoto-u.ac.jp
佐藤阿佐子	asako@pri.kyoto-u.ac.jp

生態機構分野 Fax: 0568-63-0565

上原 重男	uehara@pri.kyoto-u.ac.jp
M. A. Huffman	Huffman@pri.kyoto-u.ac.jp
橋本 千絵	hashimot@pri.kyoto-u.ac.jp
永田 礼子	nagata@pri.kyoto-u.ac.jp

社会構造分野 Fax: 0568-63-0564

森 明雄	mori@pri.kyoto-u.ac.jp
大澤 秀行	ohsawa@pri.kyoto-u.ac.jp
杉浦 秀樹	sugiura@pri.kyoto-u.ac.jp
真方 栄子	makata@pri.kyoto-u.ac.jp

思考言語分野 Fax: 0568-62-2428

松沢 哲郎	matsuzaw@pri.kyoto-u.ac.jp
友永 雅己	tomonaga@pri.kyoto-u.ac.jp
田中 正之	mtanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
酒井 道子	sakai@pri.kyoto-u.ac.jp

認知学習分野 Fax: 0568-62-9552

正高 信男	masataka@pri.kyoto-u.ac.jp
泉 明宏	izumi@pri.kyoto-u.ac.jp
南雲 純治	nagumo@pri.kyoto-u.ac.jp
新谷さとみ	araya@pri.kyoto-u.ac.jp

行動発現分野 Fax: 0568-63-0563

三上 章允	mikami@pri.kyoto-u.ac.jp
脇田 真清	mwakita@pri.kyoto-u.ac.jp
三輪 隆子	tmiwa@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 冬華	ysuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp

器官調節分野 Tel/Fax: 0568-63-0576

林 基治	hayashi@pri.kyoto-u.ac.jp
大石 高生	toishi@pri.kyoto-u.ac.jp
清水 慶子	shimizu@pri.kyoto-u.ac.jp
金武ひろみ	kanetake@pri.kyoto-u.ac.jp

遺伝子情報分野 Fax: 0568-62-9557

竹中 修	takenaka@pri.kyoto-u.ac.jp
平井啓久 (兼)	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
中村 伸	snakamur@pri.kyoto-u.ac.jp
浅岡 一雄	asaoka@pri.kyoto-u.ac.jp
宮田 正代	miyata@pri.kyoto-u.ac.jp

ニホンザル野外観察施設 Fax: 0568-62-9575

渡邊 邦夫	watanabe@pri.kyoto-u.ac.jp
室山 泰之	muroyama@pri.kyoto-u.ac.jp
阿部 恵	abe@pri.kyoto-u.ac.jp
幸島観察所	Tel: 0987-77-0045/Fax: 0987-77-0251
冠地富士男	kanchi@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴村 崇文	suzumura@pri.kyoto-u.ac.jp
屋久島研究林	Tel/Fax: 09974-5-2074

人類進化モデル研究センター Fax: 0568-62-9559

景山 節	kageyama@pri.kyoto-u.ac.jp
松林 清明	kmatsuba@pri.kyoto-u.ac.jp
S. Srikantha	kantha@pri.kyoto-u.ac.jp
平井 啓久	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
上野 吉一	okuma@pri.kyoto-u.ac.jp
後藤 俊二	goto@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 樹理	suzuki@pri.kyoto-u.ac.jp
熊崎 清則	kumazaki@pri.kyoto-u.ac.jp
阿部 政光	abem@pri.kyoto-u.ac.jp
釜中 慶朗	kamanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
前田 典彦	maeda@pri.kyoto-u.ac.jp
加藤 朗野	akino@pri.kyoto-u.ac.jp
森本 真弓	marimo@pri.kyoto-u.ac.jp
兼子 明久	akaneko@pri.kyoto-u.ac.jp
小林 陽子	youko@pri.kyoto-u.ac.jp
猪飼 良子	ikai@pri.kyoto-u.ac.jp

事務部 Fax: 0568-63-0085

事務長	jimuchou@pri.kyoto-u.ac.jp
総務掛	shomu@pri.kyoto-u.ac.jp
研究助成掛	kyodo@pri.kyoto-u.ac.jp
会計掛	kaikei@pri.kyoto-u.ac.jp
図書室	toshou@pri.kyoto-u.ac.jp

※掛名称変更 (H16.4.1)

総務掛 ← 庶務掛

研究助成掛 ← 共同利用掛

2. 予算概況

(1) 2003 年度（平成 15 年度）経費および研究費取得状況

経費		(単位：千円)	研究費取得状況		(単位：千円)
物件費	人件費	484,732	校費	教育研究学内特別経費	74,000
	校費	239,365		外国人研究員経費	1,128
	産学連携等研究費	39,972		国際シンポジウム経費	1,250
	施設整備費	300		計	76,378
	計	279,637	科学研究費補助金 (31 件)		111,000
科学研究費補助金 (31 件)		111,000	奨学寄付金 (9 件)		17,122
合 計		875,369	合 計		204,500

(2) 2003 年度（平成 15 年度）文部科学省科学研究費補助金 内訳一覧

研 究 種 別	研究代表者	金額 (千円)	研 究 課 題
特定領域 (A) (2)	浅岡一雄	2,800	内分泌攪乱物質のヒトへの影響を外挿するためのサルを用いた研究
特定領域 (A) (2)	林基治	4,100	霊長類（マカクサル）大脳皮質の生後発達におけるニューロトロフィンとその受容体の役割
特定領域 (A) (2)	清水慶子	1,800	植物性エストロゲン様物質が霊長類の神経内分泌機構に及ぼす影響
特別推進 (2)	松沢哲郎	33,000	認知と行動の霊長類的基盤
基盤研究 (A) (1)	濱田穰	6,800	ヒトを含む霊長類におけるロコモーションの発達・加齢
基盤研究 (A) (1)	片山一道	4,100	ラピタ人からポリネシア人への変容過程を探る先史学的研究
基盤研究 (B) (1)	片山一道	6,100	古人骨の受傷痕と原因武器に関する研究
基盤研究 (B) (1)	本郷一美	4,400	動物遺存体分析による西アジアの Neolithization (新石器化) 過程の解明
基盤研究 (B) (2)	正高信男	2,600	ヒトを含む霊長類における音声情報の認知発達：言語と音楽を用いた比較認知研究
基盤研究 (B) (2)	川本芳	3,100	霊長類の異種交雑にともなう遺伝的変化の研究
基盤研究 (B) (2)	景山節	3,600	脊椎動物ペプシノゲンの多様性に関する酵素機能の特異性とゲノム解析
基盤研究 (B) (2)	平井啓久	2,200	マンソン住血吸虫における全 BAC クローンの染色体マップの完成

研 究 種 別	研究代表者	金額 (千円)	研 究 課 題
基盤研究 (B) (2)	森明雄	3,600	重層社会を作るヒヒ類の社会生態学的, 集団遺伝学的研究
基盤研究 (B) (2)	三上章允	4,800	ジャワ島におけるカニクイザル視物質遺伝子の多様性に関する研究
基盤研究 (B) (2)	茂原信生	3,400	東南アジア地域における第三紀霊長類の進化学的研究
基盤研究 (B) (2)	平井啓久	3,600	アジルテナガザルの亜種分化に関する総合調査
基盤研究 (C) (2)	友永雅己	800	社会的認知の知覚的基盤: 比較認知からのアプローチ
基盤研究 (C) (2)	高井正成	900	新生代後半のユーラシア大陸における化石霊長類の進化に関する総合的研究
基盤研究 (C) (2)	國松豊	1,500	化石から見たヒト上科の出アフリカとユーラシアへの拡散
基盤研究 (C) (2)	庄武孝義	1,500	DNA 標識を用いたマカクとヒヒの遺伝的特性の再検討
基盤研究 (C) (2)	田中洋之	2,000	ゲノムタイピングによる霊長類集団の遺伝的多様性の評価とその応用
萌芽研究 (2)	川本芳	1,900	ニホンザルの東西文化に関する分子考古学的研究
若手 (B) (2)	杉浦秀樹	1,200	群れの空間構造・個体の行動から群れ全体の構造を探索
若手 (B) (2)	田中正之	2,600	絵の認識と表出に関する比較認知発達の研究
特別研究員奨励費	伊藤 (大塚) 麻里子	1,500	内分泌攪乱物質が雄マカクザルの精子形成に及ぼす影響—ヒト精子形成障害モデルの確立
特別研究員奨励費	座馬耕一郎	1,100	野生チンパンジーにおける利他行動の進化
特別研究員奨励費	鏑本武久	1,500	ポンダウン層の哺乳類化石の記載と東アジアの新生代前半における哺乳類の進化
特別研究員奨励費	早川祥子	1,100	ニホンザルの群れ間遺伝子交流とその進化
特別研究員奨励費	半谷吾郎	1,100	霊長類の社会構造の進化に環境と系統が与える影響
特別研究員奨励費	中山桂	1,400	フサオマキザルにおける協力行動と他者の役割の理解
特別研究員奨励費	香田啓貴	900	ニホンザルにおける音声応答の成立要因: ヒト音声言語との比較研究
合 計	31 件	111,000	

※金額は、間接経費を除く

(3) 2003 年度 (平成 15 年度) 研究補助金等内訳一覧

(文部科学省科学研究費補助金以外)

補 助 金 等 . 種 別	研究代表者	金 額 (千円)	使 途
東洋鋼板 (株)	浅岡一雄	980	霊長類に関する総合的研究
(財) 中山科学振興財団	泉明宏	686	霊長類に関する総合的研究
(財) 住友財団	清水慶子	617	霊長類に関する総合的研究
(財) 石田財団	田中洋之	1,519	ボルネオ島及びスラウエシ島に生息するミツバチ属の歴史生物地理学的研究
(財) 不二たん白質研究振興財団	中村伸	4,900	霊長類に関する総合的研究
協和発酵工業 (株)	中村伸	2,450	霊長類に関する総合的研究
平井啓久 (米国ニューヨーク州立大)	平井啓久	580	マンソン住血吸虫ゲノムプロジェクト: BAC クローンの染色体マッピングのため
(株) インデックス	正高信男	3,920	乳幼児の音声の研究のため
(財) みずほ福祉助成財団	正高信男	1,470	地域社会におけるろう者と健聴者の共存事例の調査
合 計	9 件	17,122	

※寄附金額は、全学共通経費 (2%) を控除した金額

3. 図書

霊長類学の研究成果を網羅する方針で図書を収集しています。特に霊長類学関係論文の別刷は年間2500件あまりを受け入れ、『霊長類学別刷コレクション』として閲覧に供しています。書籍については全所員からの推薦を受け付け、選定の参考にしています。

(1) 蔵書数

2004年3月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下の通りです。

和書 6,859冊（製本雑誌も含む）

洋書 14,964冊（製本雑誌も含む）

霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）

75,000点

(2) 資料の所蔵検索

図書室で所蔵している図書・雑誌はすべて【京都大学 OPAC】で検索できます。

京都大学 OPAC にアクセスし、[詳細検索画面]－[所蔵館]の欄に[66 霊長研]と入れると、霊長類研究所の蔵書のみヒットします。

詳しくは京都大学附属図書館のホームページをご覧ください。

<http://kensaku.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

図書室で所蔵している「霊長類学別刷コレクション」の所蔵データは【NACSIS-IR（国立情報学研究所情報検索サービス）】で検索できます。

NACSIS-IR にアクセスし、[データベース一覧]から[霊長類学文献索引データベース (PRIRC)]を選択してください。

詳しくは国立情報学研究所情報検索サービスのホームページをご覧ください。

<http://www.nii.ac.jp/ir/ir-j.html>

(3) 霊長類研究所図書室利用規程

I. 開室時間と休室

1. 開室時間

平日：9時から17時まで。

2. 休室

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始は休室とする。

その他の臨時休室は、その都度掲示する。

II. 閲覧

1. 閲覧者の資格

1) 本研究所の所員。

- 2) 本研究所の共同利用研究員.
- 3) 1), 2) 以外の, 京都大学に所属する者で, 所属図書施設の紹介のある者.
- 4) その他一般利用者.

2. 閲覧

- 1) 閲覧は所定の場所で行わなければならない.
- 2) 次の各号に掲げる場合においては閲覧を制限することができる.
 - (1) 当該資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年法律第140号. 以下「情報公開法」という.) 第5条第1号, 第2号及び第4号に掲げる情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分.
 - (2) 当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第5条第2号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合における当該期間が経過するまでの間.
 - (3) 当該資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は当該資料が現に使用されている場合.

Ⅲ. 貸出及び返却

1. Ⅱの1の1)の該当者及び, 2)のうち予め利用者カードを提出した者は, 下記に従い図書を借用できる. すべての借用資料は, 原則として所外に持ち出すことはできない.
 - 1) 借用資料の種類と借用方法
 - a. 単行本
 - (i) 単行本は1ヵ月間借用できる.
 - (ii) 借用時には, ブックカード及び代本板用紙に必要事項を記入する. ブックカードは所定の箱に入れ, 代本板用紙は代本板の背に挿入して, 書架上の本のあった位置に置く.
 - b. 製本雑誌
 - (i) 製本雑誌は3日間借用できる.
 - (ii) 借用方法は単行本に準じる.
 - c. 未製本雑誌
 - (i) 未製本の雑誌は15時から翌朝10時までの間に限り借用できる.
 - (ii) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する.
 - d. 別刷
 - (i) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる.
 - (ii) 利用後は, 返却台の箱に返却する.
 - e. 他機関からの借用資料
 - (i) 他機関からの借用資料は, 開室時間中の図書室内での利用に限る.
 - (ii) 利用後は図書係員に返却する.
 - 2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない.
 - 3) 借用中の資料を転貸してはならない.
 - 4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる. ただし, 他に借用希望者がある時は, 他を優先する.
 - 5) 借用後の図書は返却台に返却する.

2. IIの1の3)の該当者は、所属の図書施設を通じて借用を依頼することができる。

1) 借用資料は単行本のみで、所属図書施設内での利用に限る。

2) 借用期限は2週間とするが、本研究所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速やかに返却することとする。

IV. 総点検及び長期貸出

1. 定期的に図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。

2. 総点検期間中、図書室を休室とすることがある。

3. 図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は1年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

V. その他

1. 図書室資料の目録及びこの図書室利用規程については常時図書室に備え付ける。

2. 資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。

3. 借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。

4. 図書室内（書庫を含む）は禁煙とする。

附則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

平成16年4月1日制定

4. サル類飼育頭数・動態

2003 年（平成 15 年）度末飼育頭数

種 名	頭 数	種 名	頭 数
オオガラゴ	1	アカゲザル	190
コモンマーモセット	26	タイワンザル	10
ワタボウシタマリン	30	ブタオザル	1
ヨザル	15	ボンネットザル	10
リスザル	5	カニクイザル	45
フサオマキザル	19	スラウエシマカク	1
ケナガクモザル	1	マントヒヒ	7
ミドリザル	3	アジルテナガザル	4
ミトリスル×ハタスザル	1	チンパンジー	15
ニホンザル	390	合 計	774

2003 年（平成 15 年）度サル類動態表

区 分 種 名	増 加		減 少（死亡など）						
	出 産	導 入	実 験 殺	事 故 死	外 傷 死	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	感 染 症	そ の 他 ・ 不 剖 能 検 等
コモンマーモセット	6				1	1			2
ワタボウシタマリン	5								1
ヨザル	1		1						
フサオマキザル	1		1						
ミドリザル			1						
ニホンザル	39		23		1	2	4	1	5
アカゲザル	24		22	2	2	1	5		3
カニクイザル	1		5				2	1	1
マントヒヒ	1				1				
ベニガオザル			1						
シロテナガザル									1
チンパンジー	1								
小 計	79		54	2	5	4	11	2	13
合 計	79		91						

5. 資料

霊長類研究所が所蔵する資料は、骨格標本、液浸標本、化石模型などからなり、外部の研究者にも基本的にすべて公開されている。標本のほとんどはデータベース化されており、資料委員会の許可にもとづいて利用希望者に提供され、研究遂行上の必要に応じて貸し出しもおこなっている。他機関所蔵の資料との交換も受け入れている。

(1) 霊長類骨格資料（表 1）

現在、資料委員会のデータベースに登録された霊長類骨格標本は表 1 の通りである。その数は 7,000 点を超え、大部分はマカク類を中心とした旧世界ザルの標本である。その他に、新世界ザルの標本も約 1,400 点保有している。類人猿、および原猿類（含ツパイ）の標本は、それぞれ数十点ずつである。

(2) 霊長類以外の骨格標本（表 2）

霊長類以外にも、哺乳類を中心に約 1,400 点近い骨格標本を所蔵している。内訳は、タヌキ、キツネ、ツキノワグマ、テン、イタチ、イノシシ、シカ、カモシカなど日本産哺乳類が多い。日本産の野生哺乳類が減っている現在、これらは貴重な資料である。

骨格標本はすべて研究所新棟 4 階と本棟地下の骨格資料室において移動式標本架にならべて保管されている。標本は種ごとに分類され、種内では標本番号にしたがって配列されている。利用希望者は、資料室に設置されたコンピューター上で骨格標本データベースを検索することができる。データベース上で利用できる情報は、標本番号、種番号、属名、種名、登録日、性別、体重、座高、前胴長などである。

(3) 液浸標本

本棟地下の液浸資料室に各種霊長類のホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本が数百点保管されており、共同利用研究者などを対象に、研究・教育目的で提供されている。これらについてもデータベース化が進められている。

(4) その他

以上の他に、被毛標本数十点が保有されている。

霊長類研究所資料委員会は国内外の多くの研究者がこれらの資料を利用して研究を進めることを希望しており、利用希望者の要請にできるだけ応えたいと考えている。そのため、上記のように研究所の資料についてデータベース化など利用環境の整備に努めており、毎年国内外の研究者らによって骨格標本や液浸標本が研究・教育用の資料として活用されている。標本の利用許可については、非破壊的な

使用目的の場合は簡便な手続きで済むようにしているが、標本の破壊が必要だったり破損の恐れのある利用の際は資料委員会への十分な事前説明が必要である。

資料委員会は新しい標本の作製、受け入れもおこなっており、毎年標本数は増加している。資料を一層充実させるため、野外調査などの際に、霊長類その他の標本の採集にご協力いただきたい。

備考：資料委員会では、霊長類研究所資料室で登録・保管する他、霊長類標本に関するデータのみ登録も受け付けています。あるいは、標本管理者の移籍・退職などによって管理困難となった標本の取り扱いについても相談を受けます。霊長類研究所資料委員会までご連絡ください。

(文責：高井正成)

2003 年度（平成 15 年度）所蔵骨格資料

表 1 霊長類骨格資料

和名	学名	標本数
ホミノイド	Hominoidea	83
テナガザル属	<i>Hylobates</i> spp.	53
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	24
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	5
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	1
旧世界ザル	Cercopithecoidea	5652
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	3964
ラングール属	<i>Presbytis</i> spp.	176
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	362
コバナテングザル属	<i>Simias concolor</i>	132
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	565
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	16
マンガベイ属	<i>Cercocebus</i> spp.	16
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	403
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	18
新世界ザル	Ceboidea	1423
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	985
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	57
ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	49
ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	49
クモザル属	<i>Ateles</i> spp.	8
ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3
ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	16
オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	84
サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	13
ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1
ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1
ピグミーマーマモセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	6
マーマモセット属	<i>Callithrix</i> spp.	59
タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	86

ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6
原猿類 (含ツバイ)	Prosimii & Tupaia	67
ツバイ属	<i>Tupaia</i> spp.	43
オオツバイ属	<i>Lyonogale</i> spp.	1
キツネザル属	<i>Lemur</i> spp.	6
エリマキキツネザル属	<i>Varecia</i> spp.	2
スローロリス属	<i>Nycticebus</i> spp.	7
ポットー属	<i>Perodicticus</i> spp.	1
ガラゴ属	<i>Galago</i> spp.	6
メガネザル属	<i>Tarsius</i> spp.	1
総 計		7225

表2 その他の骨格資料

和名	学名	標本数
食肉目	Carnivora	912
イヌ科	Canidae	552
ネコ科	Felidae	23
クマ科	Ursidae	132
アライグマ科	Procyonidae	5
イタチ科	Mustelidae	180
ジャコウネコ科	Viverridae	20
奇蹄目	Perissodactyla	8
ウマ科	Equidae	6
バク科	Tapiridae	2
偶蹄目	Artiodactyla	349
ウシ科	Bovidae	50
シカ科	Cervidae	38
イノシシ科	Suidae	257
ペッカリー科	Tayassuidae	3
不明	indet.	1
齧歯目	Rodentia	68
ネズミ科	Muridae	22
リス科	Sciuridae	33
テンジクネズミ科	Caviidae	3
ヌートリア科	Myocastoridae	1
ヤマアラシ科	Hystriidae	1
オマキヤマアラシ科	Erethizontidae	1
カピバラ科	Hydrochoeridae	1
バカ科	Agoutidae	2
不明	indet.	4
ウサギ目	Lagomorpha	10
ウサギ科	Leporidae	9
ナキウサギ科	Ochotonidae	1
食虫目	Insectivora	1
モグラ科	Talpidae	1
有袋目	Marsupialia	6

オポッサム科	Didelphidae	2
ウォンバット科	Vombatidae	1
カンガルー科	Macropodidae	2
クスクス科	Phalangeridae	1
貧歯目	Edentata	2
フタユビナマケモノ科	Megalonychidae	2
長鼻目	Proboscidea	1
クジラ目	Cetacea	9
マイルカ科	Delphinidae	9
鰭脚目	Pinnipedia	16
アシカ科	Otariidae	14
	哺乳類・計	1382
爬虫類		4
魚類		1
	総 計	1387

6. 人事異動

所属分野等	職 名	異 動		内 容	備 考
		氏 名	年 月 日		
野外施設	所 長	茂原 信生	2003/4/1	併 任	H17.3.31 まで
	施 設 長	渡邊 邦夫	2003/4/1	併(再)任	H17.3.31 まで
行動発現	助 教 授	中村 克樹	2003/6/1	転 出	国立精神神経センター神経研究所 モデル動物開発部長へ
認知学習	教 授	正高 信男	2003/9/1	昇 任	認知学習分野助教授より
*センター	センター長	松林 清明	2003/9/30	併任期間満了	
*センター	センター長	景山 節	2003/10/1	併 任	H17.9.30 まで
形態進化	教 授	片山 一道	2004/1/16	転 任	理学研究科教授へ
器官調節	助 教 授	目片 文夫	2004/3/31	定 年	

*センター：人類進化モデル研究センター

7. 海外渡航

所 属	官 職	氏 名	種別	期 間	目 的 国	目 的
形態進化	助教授	濱田穰	研修	2003/4/24 ～5/18	タイ王国	タイ王国南部に分布する霊長類 の地理的変異研究
生態機構	助教授	M.A.Huffman	研修	2003/4/26 ～4/29	大韓民国	講演, 研究打ち合わせ
センター	助手	後藤俊二	出張	2003/5/5 ～5/12	タイ王国	色盲ザルの捕獲調査及び研究打 ち合わせ
遺伝子情報	教授	竹中修	出張	2003/5/5 ～5/12	タイ王国	色盲ザルの捕獲調査及び研究打 ち合わせ
行動発現	教授	三上章允	出張	2003/5/5 ～5/12	タイ王国	色盲ザルの捕獲調査及び研究打 ち合わせ
形態進化	助手	國松豊	研修	2003/5/9 ～5/25	タイ王国	共同研究打ち合わせ及び化石調査
系統発生	助手	本郷一美	研修	2003/5/28 ～6/29	ドイツ連邦共和国	考古遺跡から出土した霊長類の 同定と計測
集団遺伝	助手	田中洋之	出張	2003/6/13 ～7/7	マダガスカル共和国	チャイロキツネザルの集団生物 学的研究
センター	助教授	平井啓久	出張	2003/6/13 ～7/7	マダガスカル共和国	チャイロキツネザルの集団生物 学的研究
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2003/6/15 ～6/25	マレーシア, インドネシア共和国	スラウェシマカクにおける環境 汚染物質の調査
センター	教授	景山節	研修	2003/6/20 ～6/22	大韓民国	釜山大学校日本研究所創立3周 年記念シンポジウム出席
形態進化	教授	片山一道	出張	2003/7/01 ～7/15	連合王国, イタリア共和国	ラビタ人骨年代測定分析, 第15 回国際人類学民族学会議出席, 研 究打ち合わせ
センター	客員教 授	S.Srikantha	研修	2003/7/05 ～7/18	オーストラリア	第19回国際遺伝学会出席発表
行動発現	助手	脇田真清	研修	2003/7/09 ～7/17	チェコ共和国	第6回国際神経科学会議出席, 発 表
遺伝子情報	助手	中村伸	研修	2003/7/11 ～7/19	連合王国	第19回国際血栓止血学会での発 表, 情報収集
認知学習	助教授	正高信男	研修	2003/7/12 ～7/18	オーストラリア	第4回国際認知科学会招待講演発 表
器官調節	助手	清水慶子	出張	2003/7/27 ～8/12	チェコ共和国, ベルギー王国	第4回ヨーロッパ哺乳類学会大会 参加発表及び資料収集
系統発生	助手	本郷一美	出張	2003/7/31 ～10/31	トルコ共和国, 連合王国	考古学調査と出土した動物骨の 分析及び学会出席
社会構造	教授	森明雄	出張	2003/7/31 ～9/20	サウジアラビア王国	重層社会を作るヒヒ類の社会生 態学的, 集団遺伝学的研究
認知学習	助教授	正高信男	研修	2003/7/31 ～8/6	スペイン, ドイツ連邦共和国	第15回国際音声学会招待講演及 びミュンヘン大学での招待講演
形態進化	助手	國松豊	出張	2003/8/7 ～9/22	ケニア共和国	化石野外調査及び標本調査

所 属	官 職	氏 名	種別	期 間	目 的 国	目 的
遺伝子情報	助手	浅岡一雄	出張	2003/8/22 ～8/29	アメリカ合衆国	国際シンポジウム Dioxin2003 に 出席発表及び研究打ち合わせ
形態進化	助教授	濱田稔	出張	2003/8/22 ～9/8	タイ王国	タイ王国に生息するマカク類の 分布と形態学的特徴に関する予 備的調査及びセミナーでの発表
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2003/8/25 ～9/30	インドネシア共和国	インドネシア産霊長類の野外調査
集団遺伝	助手	田中洋之	出張	2003/9/15 ～10/7	インドネシア共和国	アジルテナガザル亜種分化に関 する総合調査
センター	助教授	平井啓久	出張	2003/9/15 ～10/7	インドネシア共和国	アジルテナガザル亜種分化に関 する総合調査
形態進化	助教授	濱田稔	研修	2003/9/16 ～9/22	ドイツ連邦共和国	第1回国際ワークショップ“霊長 類頭蓋顔面形態における進化的変 化”に参加研究発表及び打ち合わせ
行動発現	教授	三上章允	研修	2003/9/17 ～9/22	アメリカ合衆国	シンポジウム「感覚・運動統合」 参加，講演並びに研究連絡
生態機構	助教授	M. A. Huffman	研修	2003/9/08 ～9/30	イタリア共和国	飼育チンパンジー行動学的調査， 研究打ち合わせ
集団遺伝	助教授	川本芳	出張	2003/10/4 ～10/29	ペルー共和国	南米ラクダ科家畜の調査
センター	助手	後藤俊二	出張	2003/10/12 ～10/21	インドネシア共和国	色盲ザルの捕獲調査及び研究打 ち合わせ
遺伝子情報	教授	竹中修	出張	2003/10/12 ～10/21	インドネシア共和国	色盲ザルの捕獲調査及び研究打 ち合わせ
行動発現	教授	三上章允	出張	2003/10/12 ～10/21	インドネシア共和国	色盲ザルの捕獲調査及び研究打 ち合わせ
系統発生	助手	高井正成	出張	2003/10/19 ～10/29	フランス共和国	モンペリエ大学及びパリ国立自 然史博物館所蔵の標本観察
思考言語	教授	松沢哲郎	研修	2003/10/19 ～10/23	中華人民共和国	北京大学においてチンパンジー研 究に関する特別講義及び研究連絡
センター	助教授	上野吉一	出張	2003/11/01 ～11/8	南アフリカ共和国	第6回国際エンリッチメント学 会参加及び研究打ち合わせ
生態機構	助教授	M. A. Huffman	研修	2003/11/05 ～11/21	アメリカ合衆国	招待講演，研究連絡，資料収集
器官調節	教授	林基治	出張	2003/11/07 ～11/14	アメリカ合衆国	第33回北米神経科学会議での研 究成果発表
形態進化	教授	片山一道	研修	2003/11/10 ～11/19	メキシコ合衆国	第11回ラテンアメリカ・アジア・ アフリカ研究国際会議での招待 講演
系統発生	助手	高井正成	出張	2003/11/15 ～12/14	ミャンマー連邦	化石発掘調査及び比較標本調査
遺伝子情報	助手	中村伸	研修	2003/11/17 ～11/21	フィリピン共和国	カニクイザルモデルでの共同研究
系統発生	教授	茂原信生	出張	2003/11/24 ～12/5	ミャンマー連邦	化石発掘調査及び比較標本調査

所 属	官 職	氏 名	種別	期 間	目 的 国	目 的
生態機構	助教授	M.A.Huffman	出張	2003/11/27 ～12/29	タンザニア連邦共和国	マハレ山塊に棲む野生チンパンジーの生態学的調査
集団遺伝	教授	庄武孝義	出張	2003/11/30 ～12/31	サウジアラビア王国	ヒヒ類の重層社会の進化についての集団遺伝学的研究
思考言語	教授	松沢哲郎	出張	2003/12/3 ～ 2004/1/10	アメリカ合衆国, 連合王国 ギニア共和国	京都大学国際シンポジウム参加及び講演, Birkbeck 大学において講演, ボッソウ村周辺にてチンパンジーの生態調査
思考言語	助教授	友永雅己	出張	2003/12/4 ～12/9	アメリカ合衆国	京都大学国際シンポジウム参加及び発表
形態進化	教授	片山一道	出張	2003/12/14 ～12/24	マーシャル諸島共和国	マーシャル諸島遺骨収集応急派遣に参加
形態進化	助手	國松豊	出張	2003/12/15 ～12/30	タイ王国	タイ王国産出の新生代後期化石標本調査, 資料収集
集団遺伝	教授	庄武孝義	研修	2004/1/28 ～3/9	エチオピア連邦民主共和国	ゲラダヒヒの分布調査
系統発生	助手	高井正成	出張	2004/2/1 ～2/8	ロシア連邦	ロシア国立古生物研究所所蔵の標本観察
思考言語	教授	松沢哲郎	出張	2004/2/9 ～2/16	ドイツ連邦共和国	JSPS とマックスプランク協会の署名式出席, 日本総領事館表敬, マックスプランク進化人類研究所において研究打合せ
系統発生	教授	茂原信生	出張	2004/2/9 ～2/19	ドイツ連邦共和国, スイス連邦	JSPS とマックスプランク協会の署名式出席, 日本総領事館表敬, 研究連絡
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2004/2/9 ～2/24	インドネシア共和国	スラウェシマカクの野外調査
集団遺伝	助手	田中洋之	出張	2004/2/12 ～3/22	マダガスカル共和国	チャイロキツネザルの雑種ならびに非雑種集団を対象にした AFLP (増幅 DNA 断片長多型) 分析
センター	教授	松林清明	出張	2004/2/12 ～2/19	オランダ王国, ドイツ連邦共和国	サル類飼育管理システムの調査
形態進化	助教授	濱田穰	出張	2004/2/12 ～3/10	タイ王国	タイ国に分布するマカク類に関する野外調査およびミニシンポジウムでの発表
認知学習	教授	正高信男	出張	2004/2/17 ～2/22	インドネシア共和国	マタニティブルーについての比較文化調査
遺伝子情報	教授	竹中修	研修	2004/2/19 ～2/26	タイ王国	カニクイザルの捕獲調査および研究連絡
センター	助教授	平井啓久	出張	2004/3/4 ～3/24	マダガスカル共和国	チャイロキツネザルの捕獲及び試料収集
社会構造	助教授	大澤秀行	研修	2004/3/4 ～3/22	タイ王国 オーストラリア	東南アジアのマカク類の分布調査及び研究打ち合わせ
思考言語	教授	松沢哲郎	出張	2004/3/11 ～3/17	アメリカ合衆国	国際チンパンジーゲノム会議出席及び講演

所 属	官 職	氏 名	種別	期 間	目 的 国	目 的
センター	教授	松林清明	出張	2004/3/11 ～3/18	シンガポール共和国 インドネシア共和国	インドネシア及びシンガポール における霊長類飼育状況視察
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2004/3/11 ～3/18	シンガポール共和国 インドネシア共和国	インドネシア及びシンガポールに おける霊長類飼育状況視察、西ス マトラ州野生霊長類の現状調査
集団遺伝	助教授	川本芳	出張	2004/3/15 ～3/25	ペルー共和国	南米ラクダ科家畜の調査
系統発生	助手	本郷一美	研修	2004/3/23 ～4/2	トルコ共和国	イスタンブール大学での資料収 集及び調査許可取得のための文 化省考古局との交渉

8. 非常勤講師

(氏名:講義題目:日時)

(霊) 倉島保美 (NEC エレクトロニクス (株) シニアデザインエンジニア)

「論文やレポートのための書く技術講座」

2003 年 10 月 27 日 (月) ~ 10 月 28 日 (火)

(理) 森裕司 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)

「応用動物行動学」

2003 年 11 月 18 日 (火) ~ 11 月 19 日 (水)

(理) 山本博章 (東北大学大学院生命科学研究科 助教授)

「毛色と色素細胞－発生・遺伝・機能発現－」

2003 年 12 月 18 日 (木) ~ 12 月 19 日 (金)

(霊): 霊長類研究所 卒 (理): 理学研究科 卒

9. リサーチ・アシスタント (R・A)

(氏名: 採用期間)

倉岡 康治: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

森 琢磨: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

深谷 もえ: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

大橋 岳: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

山本亜由美: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

田中美希子: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

細川 貴之: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

福原 亮史: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

大藪由美子: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 1 月 15 日

10. ティーチング・アシスタント (T・A)

(氏名: 採用期間)

霊長類学系科目に係るもの

打越万喜子: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

親川千紗子: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

高橋 知子: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

託見 健: 2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日

全学共通科目に係るもの

木場 礼子：2003 年 7 月 1 日～2003 年 8 月 31 日

藤澤 珠織：2003 年 7 月 1 日～2003 年 9 月 30 日

檜垣小百合：2003 年 7 月 1 日～2003 年 8 月 31 日

西村 宏久：2003 年 7 月 1 日～2003 年 9 月 30 日